

いわた 羅針盤

ら しん ばん

平成31年
2月号
2/1発行

No.69

平成30年11月定例会



特 集

**誰もが住みやすい
社会を目指して**

CONTENTS

- P 2 特集 誰もが住みやすい社会を目指して
- P 4 11月定例会議案審議
- P 6 委員会審査
- P 8 代表質問 (6会派)
- P 14 一般質問 (2人)
- P 16 行政視察報告
- P 17 トピックス・インフォメーション
- P 18 議会報告会
- P 20 審議結果 ほか

特集

誰もが住みやすい社会を目指して

平成28年に「障害者差別解消法」が施行され、本市においても、平成30年10月に「手話言語条例」が制定されるなど、障がいのある人もない人も共に住みやすい社会が求められています。今回の特集は、聴覚障がい、視覚障がいの立場から、磐田ろうあ協会会長、磐田市視覚障害者協会会長に、それぞれの団体の活動内容や現状、課題などについて、お話を伺いました。

(聞き手：市議会民生教育委員会)



磐田ろうあ協会会長 杉山 日出夫さん



磐田市視覚障害者協会会長 伊藤 定善さん

—それぞれの団体の活動内容をご紹介ください。

杉山 磐田ろうあ協会は、ろうあ者の生活と権利を守ることを目的として、昭和55年に設立しました。会員は、袋井市、森町を含めると35名です。手話通訳者の養成や聴覚障がいについて市民に理解を求めること、ふれあいの機会をつくることなどの活動を行っています。

伊藤 磐田市視覚障害者協会は、昭和56年に設立しました。会員は現在20名です。情報の80%以上は視覚からと言われ、視覚障がいは情報障がいとも言われます。読み書き、外出時の移動の不便さや不安を少しでも解消していくため、行政などに制度や施設の改善、充実を求めています。

—現状や課題など感じていることがあれば教えてください。

杉山 聴覚障がいは見かけではわかりにくく対応しにくい障がいです。初めて会う人は、普通の人と同じように話しかけても、なかなか通じないので不審を感じられたり、戸惑われたりすることがあります。このようなときのために、筆談・身振り・簡単な手話など適切な方法を理解してほしいと思います。

が私に挨拶だけでなく、名前まで覚えてもらい、大変うれしく、ありがたいと思っています。



小学校での授業の様子

—その他にもいろいろなお話をさせていただきます。今回いただいたご意見を参考に市議会としても障がい者への理解を深め、誰もが住みやすい社会を目指して努力していきます。ご協力いただきありがとうございます。



す。また、文章の読み書きが不自由なるうあ者が多く、例えば、挨拶の言葉遣いや手紙の文章などで、読み間違いや書き間違いがあります。本人も気が付かないことがあります。

職場や近所など、周りとの円満な関係を築くことも大事な課題です。耳が聞こえないと周りの情報がなかなか理解できないので、みんなと協調していくことが難しいです。ろうあ協会としても、その点を訴えたいです。

伊藤 視覚障がい者は点字を使えると思われ方が多いですが、意外と、点字を使える方が減ってきている状況があります。協会としては点字を大事にしたいですが、病気や事故などで途中から視覚障がいになった方にとって、点字を覚えることは大変なため、簡単に情報が得られる音声が主流になってきています。また、ポランテアの方々が減ってきており、危機感を感じています。

視覚障害者協会の会員も減少してきています。視覚に多少なりとも障がいが生じた場合に、協会はいろいろな相談に対応できることを伝えたいです。

—障害者差別解消法、手話言語条例が施行されて変わったことはありますか。



親子手話教室の様子

伊藤 法律ができたことで、例えば行政からの通知文や会議の資料が確実に点字で用意されるようになったと感じています。また、昨年初めて、特定健診の結果を点字でいただき、大変うれしかったです。口頭で伝えられるだけ

杉山 手話言語条例は制定されたばかりなので、その効果は、これからになってくると思います。昨年12月9日に、「いわたぬくまるマーケット」というイベントがありました。そこで、市民に対して手話についてのピラを配ったり、手話コーラスを披露したり、手話クイズ等を行いました。反応はとても良く、手話クイズでは多数の親子が行列を作って楽しんでくれました。そのようなPR活動をこれからも続けていきたいです。また、今回の体験は、ろうあ協会としても学ぶことが多いものでした。

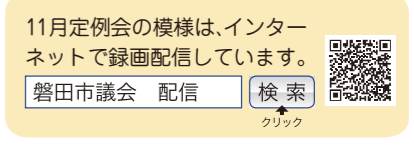
の実感と、自分で点字を読む実感というのとは全然違います。自分たちを守ってくれる、いい法律ができたと思います。ただ、厳しいかもしれません。まだ行政がやってくれることが完璧だとは限りません。障がい者が差別を感じたときに、身近に相談しやすい機関があればと思います。また、文字情報をもっと当たり前に点字になってくれればと感じています。

—市議会や行政に期待することはありますか。

杉山 昨年の一年間を表す漢字は「災」でした。本当に日本のあちこちで災害が起こりました。将来、南海トラフ巨大地震も懸念されており、手話ができる防災ポランテアをこれから養成していく必要があると感じています。また、今回を機会に、これからも市議会や行政と話し合いをもちたいです。

伊藤 今回のように、私たちの話を聞いてもらえる機会を、もっとつくっていただけたらありがたいです。私たちを知っていただき、活動の後押しをしていただければと思います。

現在、社会福祉協議会で実施している福祉教育の一環で、小学校の授業へ講師として参加しております。小学生



議案審議

平成30年
11月
定例会

会期 11月27日～12月21日 (25日間)

会派名の表記(人数)
※30年12月21日現在
「志」志政会(12)、「新」新磐田(4)、
「き」きずなの会(4)、
「共」日本共産党磐田市議団(2)、
「社」社民・明るい暮らしの会(2)、
「公」公明党磐田(2)

磐田市立学校設置条例の一部改正など

11月定例会では、市長提出の平成30年度一般会計補正予算や市立学校設置条例の一部改正など一般議案23件のほか請願1件、人事議案1件を審議しました。今回は、その中から主な議案を紹介します。
なお、全ての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

請願 第2号
高齢者のための磐田市補聴器購入費用助成制度の実施と国に保険適用を求める請願

賛成少数で
不採択

「高齢者のための磐田市補聴器購入費用助成制度の実施と国に保険適用を求める請願」については、賛成少数のため不採択となりました。

請願者 住みよい磐田をつくる市民連絡会代表 野澤 正利、外1団体 外4155名
賛成…共 **反対**…志・新・き・社・公

討論がありました

請願の趣旨

高齢化が進み聴覚が衰え難聴者が増えていく。難聴のため、人との交流も少なくなり、コミュニケーション能力の低下から、認知症や、うつ病の原因となる可能性が指摘されている。また、火災や地震等の災害にあった場合、対応が遅れ大事故になりかねない。補聴器は必需品だが高価なため、年金生活の高齢者には購入が大変である。高齢者の経済的負担を軽減し、社会参加を促し、より豊かな高齢社会の実現のため高年齢者のための磐田市補聴器購入費用助成制度の実施と、補聴器着用について保険適用を促すよう国に働きかけて欲しい。

反対 今後の医療保険運営に懸念

喫緊の課題として充実、整備をしなくてはならない地域包括支援センターや福祉を担う人材育成などが山積しており、助成制度の実施については優先順位が高くない。また、国に保険適用を求める請願については、国民健康保険の財政運営が厳しい中で、今後の医療保険運営に懸念がある。

社民・明るい暮らしの会 虫生時彦 議員

反対 科学的根拠が明確でない

質疑の中で、補聴器の使用により、認知症予防につながるという明確な科学的根拠は示されなかった。また、本市における福祉サービスは、他市と比較しても充実しており、助成制度実施の優先度は高くない。保険適用については、国の見解として適用外の通知があり、検討の動きもない。

新磐田 芥川栄人 議員

賛成 社会参加を促して豊かな高齢社会の実現を

医療保険運営が厳しくなる等の意見があったが、国が判断することである。科学的根拠が明確でない等の意見については、現実的に多くの人から困っていると声がおり、そのことが具体的根拠になる。市の助成制度と保険適用は高齢者の社会参加を促し、豊かな高齢社会を実現できる。

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

議案 第91号 市立学校設置条例の一部改正

賛成多数で
可決

これは、31年4月に、磐田中部幼稚園と磐田西幼稚園を統合して、新たな幼稚園型認定こども園を新設することに伴い、本条例の一部を改正するものです。

(賛成…志・新・社・公 反対…き・共)

条例の主な内容

- 統合となる2園を削除する。
- 新たな幼稚園型認定こども園を新設する。
- 名称を磐田市立磐田なかよしこども園とする。

本会議での主な質疑

問 名称決定までの詳細な経緯を伺う。

答 統合する2園の保護者、中泉地区の小学校児童、住民、交流センター利用者から園名を募集した。現在ある公私立園に類似する園名を避け、応募総数196件から2園の保護者代表や自治会連合会会長等の意見も踏まえ、市が決定した。

問 なかよしみ学府との名称の整合性を伺う。

答 学府の名称と園名は、関連するものではないと認識しており、整合を図っていない。

討論がありました

反対 住民との合意形成に疑問

統合する幼稚園建設計画は中泉地区長や自治会長に事前説明を行い、意見を聞いてきたが今回の名称が最終案として決定され、自治会や地域へ説明がないまま条例案を提出した。住民との合意形成をどこまで努力したか疑問である。施設が住民に愛されるためには施設の名称も重要と考える。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

反対 住民への積極的な周知が不足

今回の名称決定については、公募の経緯、方法、結果など、地元住民への積極的な周知が不足していたと感じる。また、磐田なかよしこども園の『磐田』が、広義の名前で地域への配慮が欠けている。今後、設置されるこども園の名称決定にも影響するため、慎重さが足りないと考え、反対する。

きずなの会 戸塚邦彦 議員

意見を付して賛成

市と地域が対話して園児に配慮を

老朽化等の問題解消のため統合し、園児がよりよい環境で元気に育つよう願い、名称を議会上に上程したと理解する。議案提出時に十分な報告がなかったことは残念だが、今後は市と地域が誠心誠意対話して、未来に誇れる磐田の中心地域にあるこども園が良好にスタートできるように配慮を願う。

志政会 小柳貴臣 議員

意見を付して賛成

開園に向けて連携を密に

196人が応募した園名に対する思いは絶対無視できない。園名決定から議案上程の間に地域に報告がなかったことは配慮が欠けていたと思うが、完成までの歩みは止めてはならない。開園に向けて職員、地域、保護者と連携を図り、地域全体で園児を守り育てていくことが肝要である。

新磐田 加藤文重 議員

議案 第85号 男女共同参画センター条例の一部改正

全会一致で
可決

これは、活動の連携、利用者の利便性向上を図るため磐田市男女共同参画センター「ともりあ」を磐田市勤労者総合福祉センターへ移転させることに伴い、所在地及び閉館時間等を改正するものです。

討論がありました

意見を付して賛成

女性政策の歩みが力強く進む機会に

移転により本来担うべき課題解決の体制整備に至ることは、現時点では思わない。女性の働き方、子育て、DVや虐待、セクハラ等、山積みの課題と向き合っていく。今回の移転により本市の女性政策の歩みが力強く進む機会になるよう充実した体制整備と推進できる予算、人員の配置を願う。

社民・明るい暮らしの会 川崎和子 議員

賛成 条例改正は理解でき、問題ない

委員会では本来、設置されるこども園の環境づくりについて審議すべきだったが、ほとんどが名称に関する質疑だった。当局の「名称にかかわる説明等、一定の手続を行ってきた。また、運営や質の向上にも努めていく」との答弁は十分理解でき、特段問題にすべき点はない。

社民・明るい暮らしの会 虫生時彦 議員

賛成 園児が健やかに育つよう願いをこめて

園名選定から議案上程まで、地域と行政、それぞれの立場に課題もあれば落ち度もあったが、いつまでも争っていても夢いっばいで入園する園児に申し訳がない。園児が健やかに育つよう願いをこめて、市当局、自治会、地域、園児、保護者、先生等みんなが笑顔で真新しい園舎に迎えたい。

公明党磐田 鈴木喜文 議員

委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

予算決算委員会

■委員長：山田安邦 ■委員：議長を除く全議員
■副委員長：寺田辰蔵

30年度一般会計補正予算(第5号)

〔歳入17款 寄附金〕

問 寄附者から寄附金の使途の指定はあるか。

答 子どもの関係で使って欲しいと希望があり、庁内で検討した結果、ひと・ほんの庭にこつとで対応した。

〔歳出2款 総務費〕

問 改元に伴うシステム改修の内容と補正額の妥当性をどう判断しているのか。

答 改修内容は新しい元号を正しく表示させること、日付は西暦で管理しているため西暦から新しい元号に変更することである。また見積書の内容等を細かく精査し、他自治体の改修事例を比較する等情報システム評価委員会で確認し、予算計上している。

〔債務負担行為の補正〕

問 海岸防潮堤整備事業の限度額の根拠を伺う。

答 31年度予算に係る部分として、竜洋海岸公園工区は、しおさい竜洋南側の湖の西側のうち200メートルを工事着手する。また福田の海岸防災林工区は、30年度施行箇所の東側140メートルを整備する予定である。限度額はその延長距離が根拠となる。

30年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

〔歳出2款 公債費〕

問 特定財源を使用料及び手数料から繰入金に変更した理由は。

答 下水道管理費増額分を使用料及び手数料で充当し、不足した公債費の特定財源として繰入金を充てた。



竜洋海岸公園工区

総務委員会

■委員長：高田正人 ■委員：小池和広、鈴木正人、永田隆幸、加藤文重、寺田幹根、鈴木喜文、根津康広
■副委員長：芦川和美

男女共同参画センター条例の一部改正

問 男女共同参画センターがワークピアに移転するが、市民に対する広報はどのように考えているか。

答 31年度、改修工事が終わりたいと考えている。それまでに利用団体や市民にできるだけ満遍なく広報していきたい。多くの方が利用できるようにしたいと考えている。

市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正

問 この制度を利用した職員は。

答 過去に利用した職員は4人いる。例えば道路河川課の技師が、約2年間ガイナー大学のパソコンインストラクターとして行ったことや、青年海外協力隊に看護師が行った事例がある。さらに専門学校や大学に看護師が3名行った実績がある。専門学校に行った看護師は、資格を取得してきている。経験の幅が広がることや、人間的な成長につながる、評価に値することだと思う。



勤労者総合福祉センター（ワークピア磐田）

民生教育委員会

■委員長：草地博昭 ■委員：秋山勝則、小栗宏之、戸塚邦彦、小柳貴臣、芥川栄人、高梨俊弘
■副委員長：虫生時彦

専決処分（施設管理瑕疵事故の和解）

概要…根の腐食した高木が台風24号の強風により倒れ、隣接した工場の屋根、外壁等を破損した事故

問 操業に支障があったとのことだが、建物の損害以外に何か影響があったのか。

答 建物の損壊に伴い、損傷した箇所周辺の天井が少しずつつ落ちてくるなどの支障があった。工場のラインが止まるなどの影響はなかった。

問 今回全国市長会の市民総合賠償補償保険により損害を補償することだが、どのような場合に適用されるのか。

答 市側に瑕疵があり、相手側が損害を受けた場合に賠償、補償される。

学校設置条例の一部改正

問 新しくできることも園の名称を、磐田中部幼稚園と磐田西幼稚園の園児及び保護者、磐田中部小学校と磐田西小学校の児童から公募したとのことだが、詳細を伺う。

答 磐田中部幼稚園と磐田西幼稚園には全員に応募用紙を配布してお願いした。磐田中部小学校は全児童に配布、磐田西小学校は全クラスに5枚ずつ配付し、不足した場合は増し刷りをして対応した。

問 募集した結果、応募数が多かった5案に選定したとのことだが、5案の名称は。

答 磐田第一こども園、磐田くすのきこども園、磐田なかよしこども園、磐田中央こども園、磐田おひさまこども園である。

問 中泉こども園の名称を当初から外して公募した理由は。

答 中泉保育園が将来、こども園への移行を検討しており、移行した場合、名称が重複してしまうことを考慮してほしい旨の要望があった。既に開園している園であるため、優先させるのが本来であると判断した。



建設産業委員会

■委員長：岡 實 ■委員：江塚 学、鳥居節夫、松野正比呂、寺田辰蔵、川崎和子、山田安邦
■副委員長：絹村和弘

合葬墓条例の制定

問 合葬墓の具体的な周知方法を伺う。

答 広報いわたに合葬墓の紹介と使用許可の申請手続等を掲載する予定である。市ホームページにも、同時期に同様の趣旨を掲載する。また、合葬墓の特徴や使用料、使用許可の申請手続の方法、使用上の注意事項等を記載したパンフレットを作成し、使用希望者等が相談に来庁した時などに、活用する。

共葬墓地条例の一部改正

問 共葬墓地の芝生管理の方法を伺う。

答 区画の間口1・1メートル、奥行1・5メートルは使用者の管理、それ以外の霊園内の芝生は、市が管理する。市が管理する場所は業務委託を考えている。

問 芝生の管理経費の考え方を伺う。

答 芝生の管理経費は、他の霊園と同様に年間2,050円の管理料から捻出する。

勤労者総合福祉センター条例の一部改正

問 現在、指定管理者が運営しているが、男女共同参画センター等の団体が移転してきた後の利用料や経費の関係について伺う。

答 利用料収入や委託料に影響が生じると想定されるが、今後、団体の所管課や指定管理者と協議し十分精査していく。



合葬墓イメージ図

新年度予算編成基本方針と市長の政治姿勢について 市民要望と市の諸課題について

日本共産党磐田市議団 【質問者】 高梨俊弘 議員



新年度予算編成と 市長の政治姿勢

問 31年度予算編成の基本方針、事業の重点施策等を伺う。

答 優先施策として子育て支援・教育の充実、市民生活の安全・安心の確保、地域づくりの推進と福祉の充実、産業の育成と都市基盤の整備の四つを設定した。新規拡充施策はJR新駅、新しい文化会館の整備等、継続事業を中心に予算編成の中で検討していく。



現在の新駅の様子

問 施設の再編計画と長寿命化事業計画の31年度方針は。

答 施設の最適化を推進するため、ながふじ学府一体校の整備や予防保全型修繕の取り組みを進めるため国道1号バイパスを跨ぐ跨道橋等の長寿命化工事等を実施することも、30年度策定する公園施設の長寿命化事業計画に沿って、遊具等の更新等を検討する。

問 国保の都道府県化により、国保税引き上げが懸念される。増税すべきでないが、見解は。

答 国保の都道府県化により、国保税引き上げが懸念される。増税すべきでないが、見解は。県国保運営方針に基づき、保険料水準の統一目標時期等、協議が進められることや制度改正後の財政運営を検証する必要があり、31年に向けての国保税率改正は考えていない。

問 小中学校の普通教室へのエアコン設置の今後の計画は。

答 現在、整備手法や設置スケジュールの調査を実施している。国の補正予算の空調整備に係る臨時特例交付金が予算措置されたこと等を踏まえ、31年度中の完成を目指し前倒しできればと考えている。

市民要望と諸課題

問 幼児教育の無償化による影響、対応について伺う。

答 現在、国で制度設計が進められており、具体的な内容は示されていない。影響は財政的な負担等が考えられ、制度内容が示された後に対応しなければならぬと考える。



問 向陽学府における学府一体校について検討会の在り方や結論の出し方は。

答 大藤・向笠・岩田地区の地域づくり協議会と連携を図り、3地区から一体校推進の意向が確認された後、住民等の代表者による検討会を開催し、そこでの協議内容を踏まえ方向性を出していきたい。



議会知識



市議会議員

4年ごとの選挙によって市民から選ばれた「市民の代表者」。本市議会議員の定数は条例で26人としています。

議長・副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。議長は議会の代表者として、議場の秩序を保ち、議事を整理し、議会の事務を処理します。副議長は、議長が不在のときや欠けたときに、議長の代わりに職務を行います。

会派

市政に対する同じ意見や考え方をもち、議員が集まり結成された団体のことで、現在本市議会には6つの会派があります。



市政を問う

代表質問・一般質問

(6会派) (2名)

要旨

代表質問とは？

会派(所属議員が2人以上)を代表した議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し行う質問を代表質問といい、本市議会では11月定例会で行われます。

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

代表質問・一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくはインターネットの録画映像でごらんいただけます。

磐田市議会 配信 検索



志政会
(後列左から) 秋山勝則 草地博昭 増田暢之 寺田幹根 小池和広 芦川和美
(前列左から) 岡 實 鳥居節夫 高田正人 絹村和弘 小柳貴臣 永田隆幸



新磐田
(左から) 芥川栄人 加藤文重 松野正比呂 寺田辰蔵



きずなの会
(左から) 戸塚邦彦 鈴木正人 山田安邦 小栗宏之



日本共産党磐田市議団
(左から) 根津康広 高梨俊弘



社民・明るい暮らしの会
(左から) 虫生時彦 川崎和子



公明党磐田
(左から) 鈴木喜文 江塚 学

新年度予算編成の基本方針と重点施策について まちづくり・人づくり・仕組みづくり／子育て、教育全般について



新磐田 【質問者】 加藤 文重 議員



新年度予算編成

問 現市民文化会館は31年度中の閉鎖を予定している。代替施設をどう考えているか。

答 舞台設備を持つ施設は、竜洋なぎの木会館やアミューズ豊田ゆやホール等がある。現市民文化会館より規模は小さいが、事業内容に応じて他施設での実施をお願いしたい。



市民文化会館

問 公共施設建設は低コストを求めるべきである。見解は。

答 シンプルで使いやすいつくりを目標にコスト意識を持って進めている。検討例は、

問 スポーツ部活の評価と課題、継続の考えを伺う。

答 陸上競技部、ラグビー部ともに部員数が増加し、学校生活における生徒の良好な変

子育て・教育全般

問 小児白血病の骨髄移植の治療等で免疫が失われた場合、予防接種を再接種しなければならぬケースがある。助成制度が必要と考えるが見解は。

答 保護者の経済的負担の軽減を図るため、新制度創設に向けて検討する。

問 台風21・24号では空き家の危険性が明らかになった。危険防止対策の検討状況は。

答 今後も広報等を通じて適正な管理を促していく。危険な空き家は、必要な修繕や撤去を依頼し、一連の対応履歴を踏まえ継続的な対策を行う。

まちづくり・人づくり・仕組みづくり

問 台風21・24号では空き家の危険性が明らかになった。危険防止対策の検討状況は。

答 今後も広報等を通じて適正な管理を促していく。危険な空き家は、必要な修繕や撤去を依頼し、一連の対応履歴を踏まえ継続的な対策を行う。

問 全ての児童・生徒に原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを体験させるため、修学旅行の見直し等を行う考えは。

答 広島市を候補とした場合、経費も多額となり保護者の負担が増えることが課題である。現在、全小中学校で広島平和記念式典参加児童生徒による発表を行うことで意識啓発を図る等、平和の大切さについて理解を深めている。



スポーツ部活の様子

化が見られるといった教育的効果も認められる等、中学生のスポーツ機会の充実につながっている。課題は、指導者の確保等である。課題を整理し31年度も継続して実施する。

まちづくり／ひとづくり



社民・明るい暮らしの会 【質問者】 川崎 和子 議員



まちづくり

問 災害種別ごとのわかりやすい避難場所の見える化を伺う。また緊急避難場所として交流センター開放の考えは。

答 避難所と避難場所の違いを広報等で伝えたが十分周知されていないため、これまで以上に周知する機会を増やすよう考える。交流センターを緊急避難場所として開放することは位置づけが明確でないため課題を整理して検討する。



問 長期停電における医療体制の整備について伺う。

答 市立総合病院は最大6日間自家発電が可能である。断水対策として上水道と井戸水をそれぞれ独立した受水槽に保有する。本市が把握する民間医療施設の予備電源装置等の所有状況は、透析医療施設



ひと・ほんの庭にこっと館内の様子

問 児童館再整備の考えは。

答 ひと・ほんの庭にこっとで小中高生達が開架エリアや学習室等を居場所として利用していることや、子ども達の放課後や休日の過ごし方が多様化していること等から現時点で再整備する考えはない。

ひとづくり

問 文化芸術振興条例の制定による文化行政と文化振興について伺う。

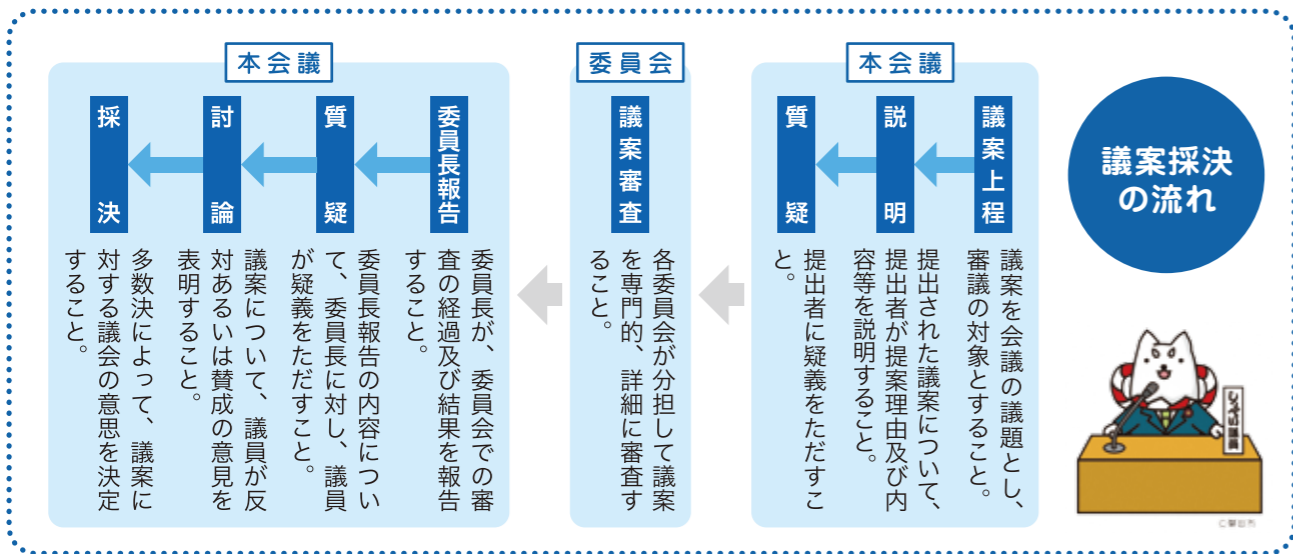
答 文化芸術振興条例のかわりとなる磐田市文化・芸術振興計画を策定している。計画に沿った事業展開により集客数が増える等一定の効果も上げているため、現在新たに条例を制定する考えはない。

問 外国人が気軽に交流し、情報共有できる多文化共生センターを整備する考えを伺う。

答 多文化交流センターや交流センターを、外国人を含めた地域交流の場として活用し



多文化交流センターでの学習支援の様子



議会知識

本会議
議員全員で構成され、市議会の意思を決定するほか、市政全般について質問を行う会議です。市議会に提出された議案や市議会としての意見表明などの可否は、最終的にはすべて本会議において決められます。本市議会では、2月・6月・9月・11月に開会する定例会と、必要ときに開かれる臨時会があります。

議会運営委員会
円滑な議会の運営を図るため、議会運営全般について協議・調整を図る会議です。

常任委員会
本会議での審査を効率的に行うために委員会を設け、議案などを専門的に率率的に審査します。本市議会では総務委員会、民生教育委員会、建設産業委員会、予算決算委員会、広報広聴委員会の5つの常任委員会があります。

特別委員会
複数の常任委員会にまたがる事項や特に重要な事項等を審査するために、議会の議決に基づき設けられます。

これからの磐田市 行政・教育の諸課題について



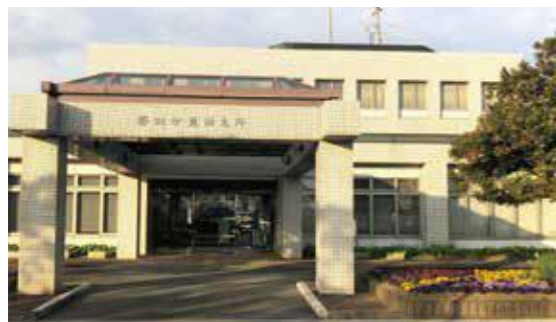
公明党磐田 【質問者】 鈴木 喜文 議員

これからの磐田市 行政・教育の諸課題

問 定年制廃止協議の現状と今後の人材確保策及び活用策を伺う。

答 国家公務員は定年を65歳まで延長を検討しているが、具体的な制度内容は示されていないため、本市は定年制廃止や延長等に関する協議には至っていない。今後は、再任用・再雇用の制度により、退職職員の能力と経験を活用していきたい。

問 死亡に伴い市役所で行う手続きについて、おくやみコーナー設置協議の現状と今後の取り組みを伺う。



豊田支所

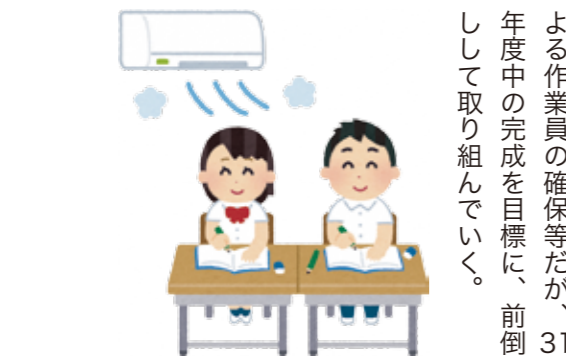
答 本庁・支所で必要な手続きを一覧表にして案内している。設置協議は行ってないが、既に設置している事例を研究する。

問 受動喫煙の防止対策について、改正法の全面施行協議の現状と課題を伺う。

答 受動喫煙を防止するため必要な措置を講ずれば、屋外に喫煙場所を設置できるため、受動喫煙防止に配慮した喫煙所の設置を検討している。課題は場所の選定である。

問 文化振興センター閉館の検討開始に伴う豊田支所への機能移設について伺う。

答 閉館後の代替施設として、展示は豊田支所のギャラリー、長藤を含め、中央図書館など展示に必要な機能を有する施設の利用を考えている。



防災対策／地域づくり／健康・福祉・医療／教育／子育て・若者支援／産業振興



志政会 【質問者】 高田 正人 議員

防災対策

問 台風24号により停電等の被害を受け教訓を残した。本市の対応の評価と検証状況は。

答 電力事業者に情報提供を要請したことが契機となり情報連携が円滑になったこと等は評価する。現在市民への情報提供や関係機関と連携した停電復旧等に向けた情報共有のあり方の研究を進めている。

いわたホットラインへ登録

「同報無線放送が風雨で聞きづらい、聞き逃した…」

そんな時は、文字で何度も確認できるホットラインが便利です。
【登録方法】
entry@hotline.city.iwata.shizuoka.jp
に空メールを送信(件名・本文なし)、または2次元バーコードをご利用ください。



問 台風24号による防潮堤損壊の状況と対応策は。

答 損壊延長は約150メートル、高さ最大約8メートルである。対応策は現在管理者である県が国と協議中である。

地域づくり

問 政府が外国人労働者受入れ拡大の方向を示した。本市でも社会に溶け込む仕組みが大事であり、行政、企業、商工会議所等各種団体との協働が必要と考えるが見解を伺う。

答 転入時に自治会活動等の説明や、企業訪問等で交流センター行事や地域のイベント情報等を提供し、各種団体と協働のきっかけとしたい。

福祉

問 障がい者の就労状況と現状に対する認識を伺う。

答 29年6月1日現在の八口1ワーク磐田管内の実雇用率は2.04%、法定雇用率達成企業の割合は56.9%である。一般就労の課題は就労が進まないことや就労後の定着、福祉就労の課題は収入が高くな

いこと等である。障がい者就労は、就労支援セミナーや就職面接会を継続し、企業や福祉事業所等との意見交換の場を設ける等、一人でも多く就職できるように支援している。

教育

問 教師の多忙化に対応するため、地域人材や教師OBを活用する考えはないか伺う。

答 今年度新たに教員OBや地域の方、大学生等をスクーラサポートスタッフとして配置した。学習プリントの印刷等、教員の業務支援を行い多忙化解消に効果を上げている。

子育て・若者支援

問 子ども・若者のあらゆる相談に対応する、子ども・若者相談センター設置の考えは。

答 妊娠期から18歳未満の子どもに関する相談は、小中学校と連携し保健師等が応じるが中学校卒業後は支援が届きにくくなるのが課題である。若者世代とその家族を対象に社会で自立するための窓口として、31年度から子ども・若

産業振興

問 中小企業の事業承継の、課題把握と支援策等の考えは。

答 企業訪問の聞き取り調査では後継者が決まっていない企業が全体の約5割を占めている。事業承継に向け早期着手が必要な状況のため、本市と支援機関と事業承継支援にかかわる相互協力及び連携に関する協定を締結した。各分野の専門家と連携をし、啓発や相談等の支援を検討する。



事業承継支援に関する協定 締結式の様子

代表質問 用語解説



※1 国保の都道府県化 (P9)

国民健康保険は各市町村が保険者となって運営していましたが、30年度から都道府県と市町村がともに保険者となり、都道府県が財政運営の中心的な役割を担うようになりました。

※2 避難所と避難場所 (P10)

避難所とは一定期間避難生活をする場所のことです。避難場所とは、災害の危険から命を守るために避難する場所のことで、災害事象ごとに定められています。

※3 自治基本条例 (P10)

住民自治の基本原則や市民参加のルールを定めるなど自治体運営の理念を定めた条例のことです。

※4 多文化交流センター (P10)

親子つどいの広場、児童の学習支援等、市内で生活する外国人の自立支援及び市民との交流を図るために本市では東新町内に設置されています。

災害対策について



一括質問

公明党磐田 江塚 学 議員



問 指定避難所において、外国人対応の現状と今後の取り組みについて伺う。

答 30年10月に県が災害時多言語支援センターを設置したこと、今後、連携について検討していく。また、避難所生活における外国人の不安

問 指定避難所における外国人対応の現状と今後の取り組みについて伺う。

答 30年10月に県が災害時多言語支援センターを設置したこと、今後、連携について検討していく。また、避難所生活における外国人の不安

問 指定避難所における外国人対応の現状と今後の取り組みについて伺う。

答 30年10月に県が災害時多言語支援センターを設置したこと、今後、連携について検討していく。また、避難所生活における外国人の不安

問 指定避難所における外国人対応の現状と今後の取り組みについて伺う。

答 30年10月に県が災害時多言語支援センターを設置したこと、今後、連携について検討していく。また、避難所生活における外国人の不安

問 指定避難所における外国人対応の現状と今後の取り組みについて伺う。

答 30年10月に県が災害時多言語支援センターを設置したこと、今後、連携について検討していく。また、避難所生活における外国人の不安

問 指定避難所における外国人対応の現状と今後の取り組みについて伺う。

答 30年10月に県が災害時多言語支援センターを設置したこと、今後、連携について検討していく。また、避難所生活における外国人の不安

問 指定避難所における外国人対応の現状と今後の取り組みについて伺う。

答 30年10月に県が災害時多言語支援センターを設置したこと、今後、連携について検討していく。また、避難所生活における外国人の不安



を少しでも和らげるため、地域や団体と対応について協議していきたい。

問 指定避難所における生活用水確保の現状と今後の取り組みを伺う。

答 30年度から必要な避難所へ井戸の設置を行っており、引き続き31年度以降も設置を進めていく。

問 本市の医療救護体系の現状と今後の取り組みを伺う。

答 大規模災害時には、医療資源の不足が想定され、限られた医療スタッフの最大限の努力と市民の協力が不可欠となる。引き続き、医師会等と連携を重ね、市民への防災意識や災害医療に関する知識の普及啓発に努めていきたい。

問 指定避難所における生活用水確保の現状と今後の取り組みを伺う。

答 30年度から必要な避難所へ井戸の設置を行っており、引き続き31年度以降も設置を進めていく。

問 本市の医療救護体系の現状と今後の取り組みを伺う。

答 大規模災害時には、医療資源の不足が想定され、限られた医療スタッフの最大限の努力と市民の協力が不可欠となる。引き続き、医師会等と連携を重ね、市民への防災意識や災害医療に関する知識の普及啓発に努めていきたい。

問 指定避難所における生活用水確保の現状と今後の取り組みを伺う。

答 30年度から必要な避難所へ井戸の設置を行っており、引き続き31年度以降も設置を進めていく。

問 本市の医療救護体系の現状と今後の取り組みを伺う。

答 大規模災害時には、医療資源の不足が想定され、限られた医療スタッフの最大限の努力と市民の協力が不可欠となる。引き続き、医師会等と連携を重ね、市民への防災意識や災害医療に関する知識の普及啓発に努めていきたい。

問 指定避難所における生活用水確保の現状と今後の取り組みを伺う。

答 30年度から必要な避難所へ井戸の設置を行っており、引き続き31年度以降も設置を進めていく。

教員の働き方改革について 自治体職員の雇用と働き方について 指定管理者制度について



一問一答

日本共産党磐田市議団 根津 康広 議員



教職員の働き方改革

問 教職員の長時間労働を生み出した根本問題の認識は。

答 週の授業時間数の増加や保護者等への対応、各種調査や報告業務の増加等が長時間労働を生み出す要因である。

問 教職員の労働時間をどのように把握し、実態はどうか。

答 教員の勤務はタイムカードで超過在校時間を把握している。30年度は、6月が80時間以上の超過勤務者数が一番多い状況で、小学校では36人、中学校では158人であった。

問 長時間労働改善のための市独自の改善策は。

答 校務支援ソフトの導入による文章の電算化や、グループウェアを活用して報告等を簡素化するなど、作業時間の軽減を図っている。また教員の負担軽減のため校務を行う支援員等も配置している。

自治体職員の雇用と働き方

問 幼保再編計画で正規雇用の向上をうたっているが、非正規雇用は約5割である。

代表質問 用語解説



※5 いわたホットライン (P12)

携帯電話等のメール機能を利用して、防災情報や同報無線放送内容等の情報を配信するサービスのことです。メールを受信するためには事前登録が必要です。

※6 法定雇用率 (P12)

障害者の雇用の促進等に関する法律により行政や企業等に達成を義務づけられている、従業員のうち障がい者を雇うべき割合のことです。30年度より国や地方公共団体は2.3%から2.5%に、民間企業は2.0%から2.2%に引き上げられました。

※7 改正法 (P13)

多くの人が使用する施設で喫煙を規制する改正健康増進法のことです。

現状をどう認識しているか。

答 内定辞退者や退職者が当初の見込みを上回るなど正規職員の確保には大変苦慮している。今後、効果的な手法があるか探していきたい。

問 国は放課後児童クラブの職員配置数等の基準を事実上廃止する方針である。安心安全な場所を保障するため基準を堅持すべきだが、見解は。

答 国の方針の内容を踏まえて対応を検討し、放課後児童クラブの運営がよりよい方向に改善できるよう努めたい。

指定管理者制度



放課後児童クラブの様子

問 地方自治体が指定した賃金の支払いを確保させる公契約条例制定の考えは。

答 今後周辺自治体の状況も確認し公契約条例も調査する。

平成31年度予算編成にあたっての重点施策等について 防災・減災対策について 中遠広域事務組合の一般廃棄物最終処分場の建設について



ぎずなの会 【質問者】 山田 安邦 議員



予算編成

問 31年度の市税及び起債額・起債残高の見通しを伺う。

答 景気の緩やかな拡大等により個人・法人市民税、固定資産税について、いずれも30年度当初予算と比べて増加するものと見込んでいます。起債額・起債残高は、大型事業の進捗に伴う財源として借り入れの増加が見込まれ、30年度と比べ、増加すると考えているが、事業費の精査や基金の活用等を図り、可能な範囲で増加の抑制に努めたい。

問 31年度に予定する重点施策について、財源措置等を含め伺う。

答 JR新駅の整備は、国・県支出金や基金繰入金、市債など、ながふじ学府小中一校の整備は、国庫支出金や基金繰入金、市債を、新たな文化会館の整備は、基金繰入金及び市債を見込んでいます。



防災・減災対策

問 防潮堤の強度を伺う。

答 県と関係市で協議した結果、東日本大震災の経験から、宮城県岩沼市の千年希望の丘の構造を根拠に決定した。市で強度調査は難しいため、県にお願ひするしかない。自然災害に対して完璧な答えはどこも出せないと思う。

一般廃棄物最終処分場

問 市町村合併前の磐南行政組合も含め、建設までの経過認識と建設に向けての市長の



ながふじ学府一体校イメージ図

具体的な取り組みを伺う。

答 25年3月4日に中遠広域事務組合と構成市町で交わした覚書により、次期最終処分場は本市が受け入れ地を確保するとしている。合併前からの経緯もあるが、最新の設備により環境への配慮が可能なことから、白紙の状態から処分場の適地を選定した。取り組みについては、候補地の選定など責任者として決断してきたが、最終決定権者である市長が出るのは最終的な場面であると考えている。

問 35年1月の稼働に向けて、現在の進捗状況と今後のスケジュールを伺う。

答 地元交渉に全力を注いでいるが、受け入れ同意が得られていない。誠心誠意ぎりぎりまで努力する。



11/27 議員研修実施 ～手話講座～

9月定例会で可決された磐田市手話言語条例の制定を受けて、市職員による手話講座を全議員が受講しました。基本的な挨拶や、自分の名前を手話で表現できるように学びました。



12/14 コンビニ配架始めました

30年6月に市と包括協定を締結したセブンイレブンと連携し、幅広い年代の店舗利用者にも市議会の活動等を知っていただくため、市内セブンイレブン各店舗に市議会だよりを配架しました。



Information

請願・陳情とは

市政などについて、直接、議会に要望できる制度として「請願」「陳情」があります。これらは磐田市民に限らず、どなたでも提出することができます。

【請願】 地方自治法及び市議会会議規則に定められており、磐田市議会議員の紹介が必要です。

【陳情】 磐田市議会議員の紹介は不要です。

【審査等】 所管する委員会に付託されその内容を慎重に審査した後、本会議（陳情は全員協議会）に報告され採択・不採択が決定されます。郵送による陳情は議長預かりとなります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

【請願・陳情の書き方】

磐田市議会議員 様	年月日
請願（陳情）者 住所 氏名	印
紹介議員（陳情は必要なし） 氏名	印
○○○○○に関する請願（陳情）	
要旨 （請願、陳情する事項を簡単に記入）	
理由 （請願、陳情する事項とその理由を詳細に記入）	

スマートフォン等からも
議会を視聴できます

パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも、本会議、予算決算委員会の模様を視聴することができます。生中継・録画中継を配信しておりますのでぜひご覧ください。



議会にご意見をお寄せください

市民の皆様の声をお聞きするため、「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しています。市議会へのご意見・ご要望をお寄せください。



左記2次元コードを読み込むと専用フォームのページに移動します。また、パソコンやスマートフォン等から入力も可能です。

委員会所管事務調査

行政視察報告

議会運営委員会や常任委員会では、所管する事務に関する審査や調査のため、他の自治体の先進的な取り組み等について行政視察を行っています。今回は、建設産業委員会の行政視察の内容をお知らせします。



山口県周南市
コンパクトシティ
周南市は、中心市街地の人口減少対策として24年度に策定した中心市街地活性化計画の一部を継続し、27年から立地適正化計画の作成を始めた。都市機能誘導区域を29年に公表し、さらに居住誘導区域を31年3月末に公表する予定である。現在JR徳山駅に南北

長崎県大村市
産業振興
大村市の事業所の大多数を占める中小企業は地域の雇用と経済を支え、市民の生活向上をもたらす重要な存在であり、中小企業の振興は民生活全体にかかわる課題であった。そこで、積極的な中小企業振興に取り組むため25年に大村市中小企業振興基本条例を策定した。その後、学識経

自由通路や橋上駅舎を、駅周辺には賑わい交流施設、駅前広場を整備した。他にも空きビルや地域資源等を活用した都市機能誘導等を行う等年間40万人の入込数の増加を見込む。本市においても、28年に終了した中心市街地活性化基本計画による磐田駅周辺まちづくり事業の検証結果等を行い反映することも必要だと感じた。

長崎県長崎市
観光振興
長崎市は、29年度707万人の観光客数を記録した。世界文化遺産等の豊富な観光資源のほか、埋もれた資源を掘



り起こし長崎が持つ独特な歴史・文化等を歩きながら案内する「長崎さるく」や、訪日外国人観光客のため、多言語表記案内板等の設置や周遊観光施設等への無線LANの整備、韓国や中国等に向け、誘致や情報発信を行っている。本市も天平時代から続く歴史と数多くの伝統行事もある。これらの資源を活かし、快適に滞在を楽しむ工夫を行い、国内外から観光客を誘致すべきと感じた。

建設産業委員会

11月7日～9日
（調査項目）コンパクトシティ/産業振興/観光振興

グループワークで皆さんからいただいたご意見です。

グループワークでは「磐田の人口減少について」のテーマに対して、小テーマ「人口減少のイメージ」と「磐田市を元気にするには」について意見を出し合い、各会場、グループごとに発表を行いました。

豊岡中央交流センター

【人口減少のイメージ】

税収をはじめ、地域の資源や交流、子どもの数が減少してしまうことに伴う、諸課題が多かった。また、高齢化は医療費や介護費用を増大させるなど、これまでの地域のあり方ではない、予想不可能な社会になっていくイメージがあげられた。

【磐田市を元気にするには】

インフラ整備、有効な土地利用、働く場の充実、農業の発展、子育てがしやすい地域、高齢者と若者・子どもが交流する、磐田市の個性が発信され、活かされるまちづくりが期待される。外国人との共生などの意見もあった。

青城交流センター

【人口減少のイメージ】

人口減少により税収が減り、市民サービスの低下が危惧される。また、医療、介護の問題を含め社会保障の増大により今後の財源確保が大きな課題となっている。さらに労働力が不足し外国人に頼ることになり、共生・共助ができなくなるなどの意見があった。

【磐田市を元気にするには】

産・官・学の連携で経済の活性化を図り、新たな産業の創出で若者の雇用拡大を図っていく。同時に子育て環境の整備を行い、健康なまちづくりをすすめるなどの意見があった。

豊浜交流センター

【人口減少のイメージ】

負のイメージが強く、空き家が増える、商店がつぶれる、自治会活動が困難になる、公共交通が減る、子どもの減少、学校・幼稚園の統廃合が心配などの意見があった。

【磐田市を元気にするには】

企業誘致、高齢者の働き場・子育てしやすい環境・若者の活躍の場をつくる、磐田が好きな人を増やす、交通アクセスの向上など、前向きな意見が多かった。

見付交流センター

【人口減少のイメージ】

まちに活気がない、子どもがより大事になる、働く場の充実、高齢者が安心して暮らせるまちづくりの必要性、労働力の減少、まちの空洞化、自然環境の荒廃、交通の不便などがあげられた。

【磐田市を元気にするには】

企業誘致、高齢者の働き場・子育てしやすい環境・若者の活躍の場をつくる、磐田が好きな人を増やす、交通アクセスの向上など、さまざまな意見があった。

御厨交流センター

【人口減少のイメージ】

マイナス思考的な意見では、地域コミュニティの弱体化や経済の衰退、施設の老朽化や空き家の増加等の現象が表れるなどが挙げられた。逆に、プラス思考的な意見では、昔に戻る、自然との共生を考えるようになるといった意見も出た。

【磐田市を元気にするには】

新しい産業の創出、磐田市の歴史・産業・自然等の世界への発信力を強化する、学力向上を目指す、教育都市としてのイメージをアップさせる、駅周辺の特色あるまちづくり・農村地域での新産業の誘致を考えるなどの意見が出た。

竜洋交流センター

【人口減少のイメージ】

行政サービスが良くなる、病院の待ち時間の短縮、交通渋滞が減ることなどプラス思考の意見。一方で街の衰退により店が減り活気がなくなり、人が離れていく、生産世代の減少により市の税収が減り、行政サービスの低下、交通機関の衰退などマイナス思考が大半を占めた。

【磐田市を元気にするには】

若者が行く店を増やす、若者の意見を聞く。企業誘致、退職後の活躍の場を増やす、コンパクトシティ、観光の強化、文化的にイベントの充実、教育への投資など建設的な意見があった。



平成30年度議会報告会を開催しました



市議会では、議会基本条例に基づき、10月27日（土）に議会報告会を開催しました。今年度は総務、民生教育、建設産業の常任委員会ごとの報告を行った後、今回初めてグループワークでテーマに基づいた意見交換を行いました。ご参加いただいた83名の方には改めて感謝いたします。

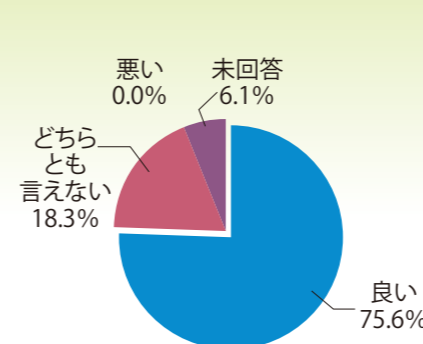
なお、ここではその一部をお知らせしますが、皆様からいただいたご意見は、課題を整理し、検討をしています。その他のご意見やアンケート結果は後日ホームページで紹介いたします。

参加者の感想（アンケートから一部抜粋）

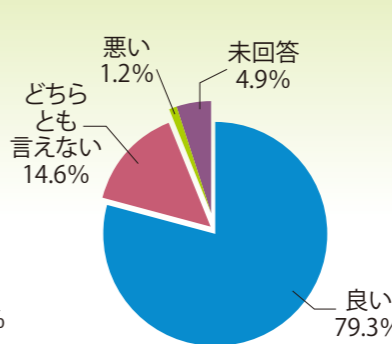
- ・磐田市を活性化するグループワーク、有意義でした。
- ・議会報告についてもう少し議員に質疑応答する時間が欲しかったです。
- ・参加者を多くする工夫が必要だと思いました。
- ・参加型の内容で良かったです。
- ・もっと気楽にきける議会報告にしたらどうでしょうか。
- ・議会、議員活動が身近に感じ、共に考えていくことが大切であると共感しました。
- ・初めて出席しましたがグループワークで様々な年代・職種の人たちと意見を出し合うことに面白さを感じました。
- ・初の試みとのことでしたが来年もグループワークを実施してほしいです。
- ・議会報告の際、手元に資料がないので説明内容を理解するのに若干苦しかったです。

議会報告会アンケート結果

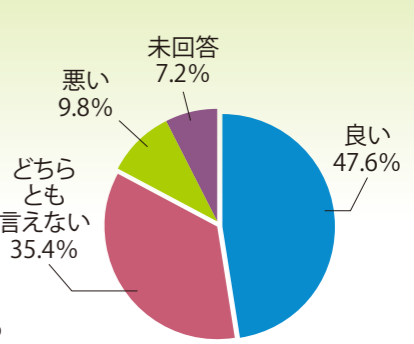
【グループワークについて（テーマ）】



【グループワークについて（内容）】



【議会からの活動報告について】



審議結果

■全会一致により可決・承認・同意された議案

- | | |
|---|--|
| (1) 30年度一般会計補正予算（第4号） | (13) 職員の給与に関する条例の一部改正 |
| (2) 専決処分（施設管理瑕疵事故の和解） | (14) 職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正 |
| (3) 30年度一般会計補正予算（第5号） | (15) 男女共同参画センター条例の一部改正 |
| (4) // 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号） | (16) 市民活動センター条例の一部改正 |
| (5) // 農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） | (17) 勤労者総合福祉センター条例の一部改正 |
| (6) // 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | (18) 共葬墓地条例の一部改正 |
| (7) // 水道事業会計補正予算（第1号） | (19) 水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 |
| (8) 合葬墓条例の制定 | (20) 農業集落排水処理施設条例及び特定環境保全公共下水道事業受益者分担に関する条例の一部改正 |
| (9) 下水道事業の地方公営企業法の適用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 | (21) 病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 |
| (10) 職員定数条例の一部改正 | (22) 財産の譲渡 |
| (11) 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 | (23) 人権擁護委員の候補者推薦の意見 |
| (12) 特別職の職員で常勤のものものの給料等に関する条例等の一部改正 | |

■意見の分かれた議案

会派名	志政会	新磐田	きずなの会	日本共産党 磐田市議団	社民・明るい 暮らしの会	公明党 磐田	結果
件名	12人（※）	4人	4人	2人	2人	2人	
市立学校設置条例の一部改正	○	○	×	×	○	○	可決
高齢者のための磐田市補聴器購入費用助成制度の実施と国に保険適用を求める請願	×	×	×	○	×	×	不採択

※志政会の会派人数は12人ですが、採決は増田暢之議長を除いた11人で行います。

○：賛成 ×：反対

■その他

- (1) 市議会議員の派遣

2月定例会の予定

(2月15日～3月18日)

日	月	火	水	木	金	土
2/10	11	12	13	14	15	16
					本会議 (議案上程)	
17	18	19	20	21	22	23
	本会議 (議案上程)					
24	25	26	27	28	3/1	2
	本会議 (一般質問)			本会議 (議案質疑)		
3	4	5	6	7	8	9
	予算決算委員会分科会 (審査)		常任委員会 (審査)			
10	11	12	13	14	15	16
		予算決算委員会 (採決)				
17	18	18	20	21	22	23
	本会議 (採決)					

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。一般質問を行う議員の順番や内容につきまして、2月22日(金)にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。

表紙の撮影者

静岡県立磐田農業高等学校 3年生
写真部

わたなべなつき
渡邊夏光さん

磐田農業高校には多種多様な植物があり、赤や黄、ピンク、緑などで一年中彩られています。その中でも、校内にある古墳「澄水山」の南、バラ園との境になっている小径。そして、小径に広がる眩い木漏れ日。この光は3年間私たちの高校生活を明るく照らし、緑は私たちの成長を見守ってくれました。私の大切で大好きな風景を写真に切り取ってみました。



市民の声を直接聞く場として、10月27日に議会報告会を市内6会場にて開催しました。初めてのグループワークを行い、テーマに沿ってグループ毎に多彩な意見が出され有意義な時を共有することができました。来年度も、議会が市民のみならず、身近になるよう努めてまいります。ご意見、ご感想をお待ちしております。(江塚 学)

【広報広聴委員会】

- 委員長：芥川栄人 ■副委員長：根津康広
■委員：江塚学、鈴木正人、永田隆幸、芦川和美、川崎和子

次回は5月1日発行予定です。